



グループ討議	<p><u>全校研究②学年・クラスで検討</u>          参考になった支援方法等          ★教員の役割の交代          ★足型を教室内の扉の前に配置する。</p>	<p>・本児の特性や性格のことを考えると、今のコミュニケーションのパターンはそのままに、教員の役割分担の交代や、学年教員に役割をお願いする等で広がりをつけられるようにするとよいのではないかという話になった。また、本人が伝える必要性を思い出すために足型を扉の前に配置するとよいのではないかというアドバイスを頂いた。</p>
2学期の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の様子、変化</li> <li>・教員自身の成果や課題</li> <li>・効果的だった支援の実践方法等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の促しを受けると「〇〇、取りに行ってきます」は言える。2学期は課題に向かう時間が多くなり、おもちゃを取りに行くことは大分減った。対大人との関係づくりとして行う場面は継続して一日のうちに何度か見られる。</li> <li>・給食の場面に関しては課題（給食）に向かう時間が増えたことによって出ていくことが減ったと感じている。</li> <li>・関係づくりとして行う場面は、その場では不適切な関わりであると指導し、他の場で適切な関係づくりを行うことを継続していきたい。</li> </ul>
まとめ	<p><u>全校研究③学年・クラスで検討</u>          ・児童生徒の来年度の目標、課題等</p>	<p>・様々な場面で本児の受け入れられる物事の幅を広げていくこと。</p>